



2011年3月期第1四半期 業績概要

2010年7月29日

アンリツ株式会社
代表取締役社長 橋本 裕一

東証第1部:6754

(<http://www.anritsu.com/ja-JP/About-Anritsu/Investor-Relations/>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引
き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容
- サマリー
- 2011年3月期 第1四半期 業績概要
- 2011年3月期 第2四半期累計、通期見通し

当社の事業セグメントの呼称と事業内容



セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部門 の主な所在国
計測	モバイル市場 (旧:携帯端末分野)	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト	日本・英国・ 米国
	ネットワーク・インフラ市場 (旧:NGNおよびインフラ関 連分野)	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造 用テスト、有線ネットワークおよび無線 インフラ敷設・保守用テスト、サービス アシュアランスなど	日本・米国・ デンマーク・ イタリア・
	エレクトロニクス市場 (旧:汎用分野)	無線設備、電子部品等の開発・製造用 汎用テストなど	米国・日本・ 英国
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチと その応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、 異物検出機など	日本、タイ
その他		精密計測、光デバイスなど	日本

第1四半期業績(連結)サマリー

(単位: 億円)

	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	168	179	11	6%
売上高	143	168	25	18%
営業利益	△9	9	18	-
経常利益	△11	3	14	-
税引前当期純利益	△9	2	11	-
当期純利益	△18	1	19	-
フリーキャッシュフロー	19	42	23	119%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

営業概況

計測	顧客の設備投資抑制は一部残るものの、総じて堅調に推移 LTE ^{注1)} ビジネスは顧客の前倒し開発投資もあり、堅調に推移 中国移動 TD-SCDMA ^{注2)} 認証試験システム受注 ベライゾン LTE用BTS ^{注3)} マスター採用
情報通信	計画通り 帯域制御装置が金融機関向けを中心に堅調
産業機械	アジアの設備投資が回復傾向であり、全体として計画通り
その他	ブロードバンド化に伴う光デバイスの需要は特需により好調 精密計測は顧客の設備投資抑制により低調

注1) LTE: 次世代携帯電話の通信規格。

2) TD-SCDMA: 中国が推進する第3世代携帯電話の通信規格。

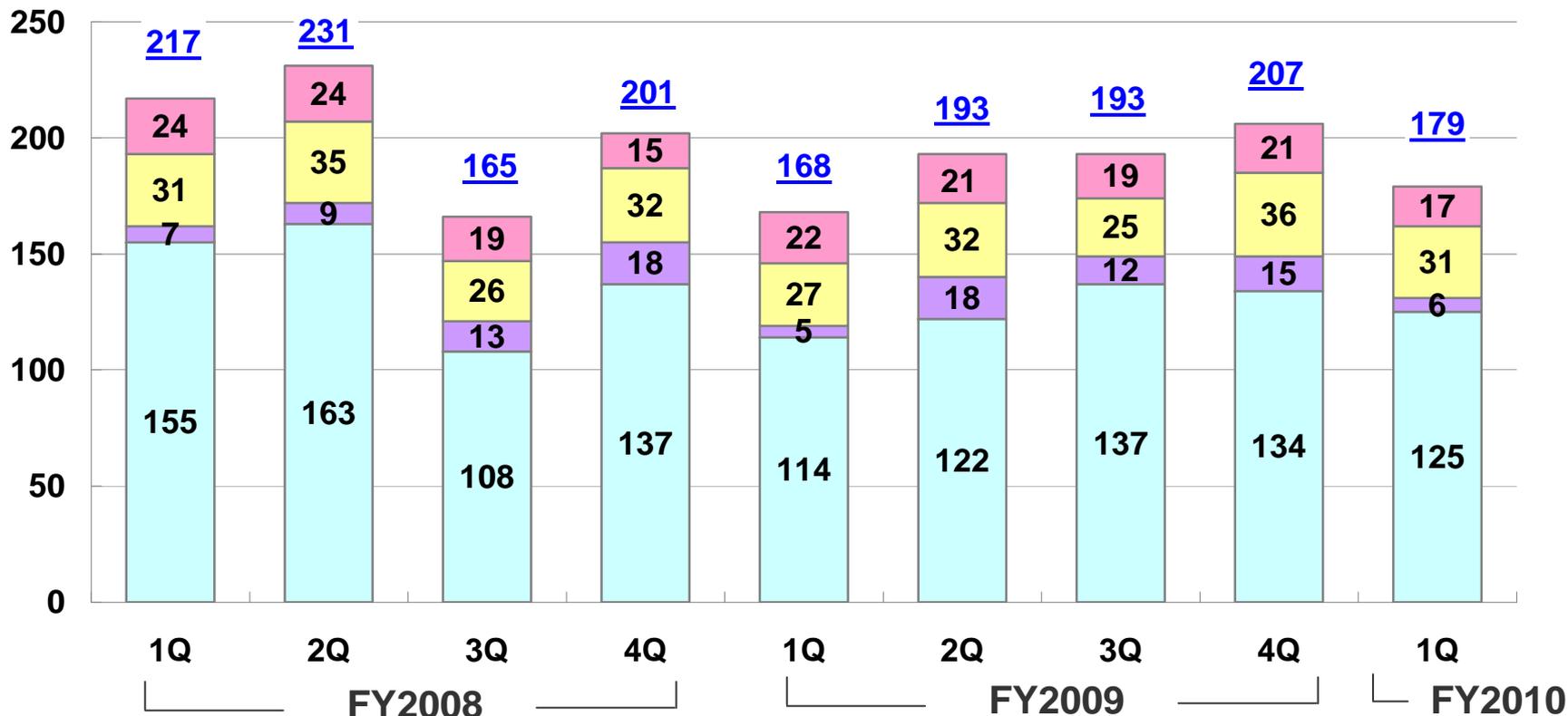
3) BTS: 基地局

事業別受注推移(連結)



- 億円
- その他
 - 産業機械
 - 情報通信
 - 計測

FY2009 Q1を底に改善方向



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業利益(連結)



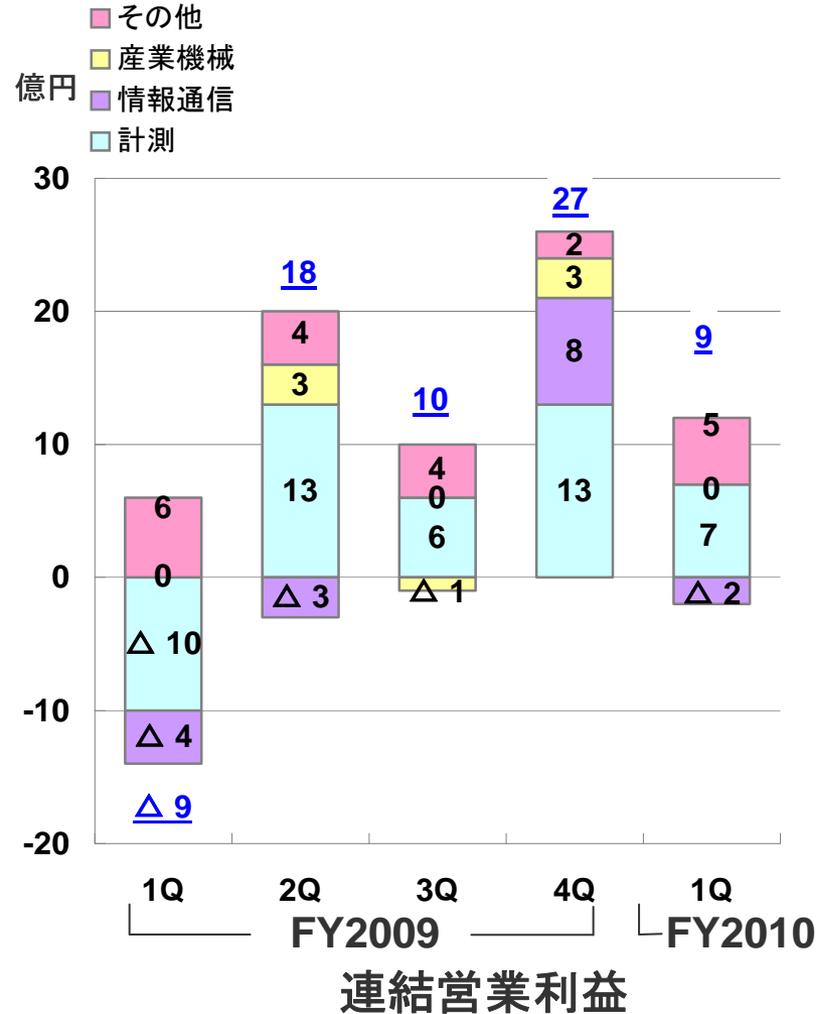
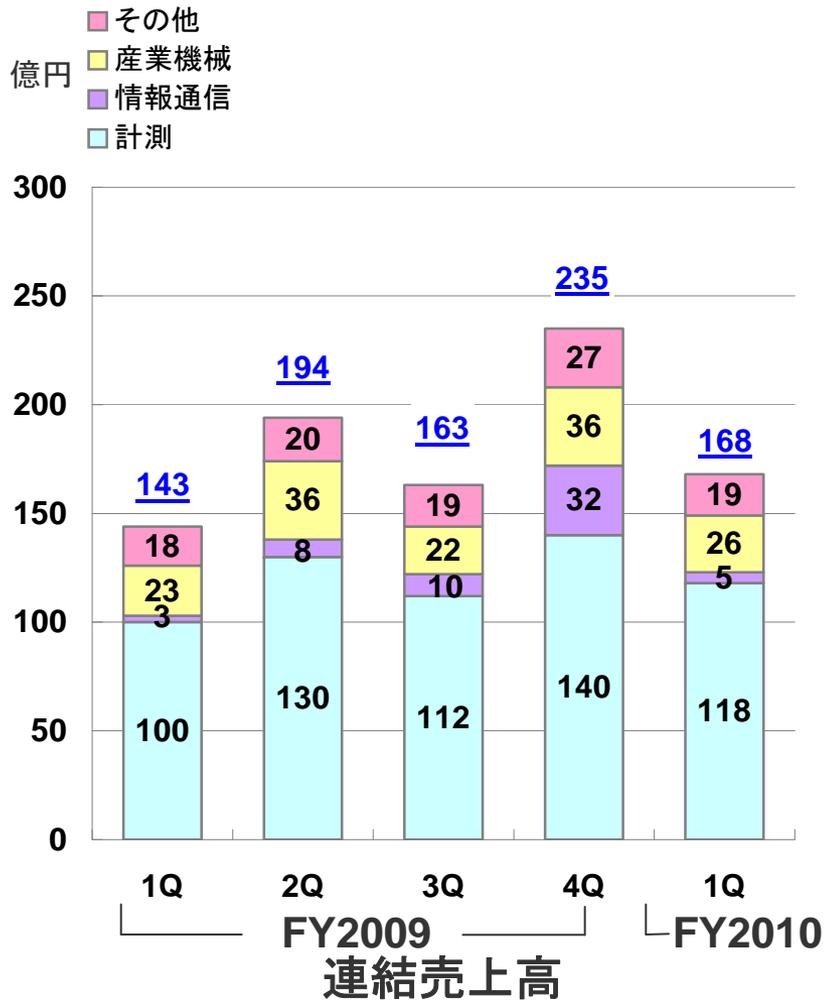
計測はLTE関連の需要立上りと北米市場の回復により増収、黒字化

(単位: 億円)

		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測	売上高	100	118	18	18%
	営業利益	△10	7	17	-
情報通信	売上高	3	5	2	99%
	営業利益	△4	△2	2	-
産業機械	売上高	23	26	3	14%
	営業利益	0	0	0	△19%
その他 (含: 内部 消去)	売上高	18	19	1	8%
	営業利益	6	5	△1	△18%
合計	売上高	143	168	25	18%
	営業利益	△9	9	18	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業損益推移(連結)

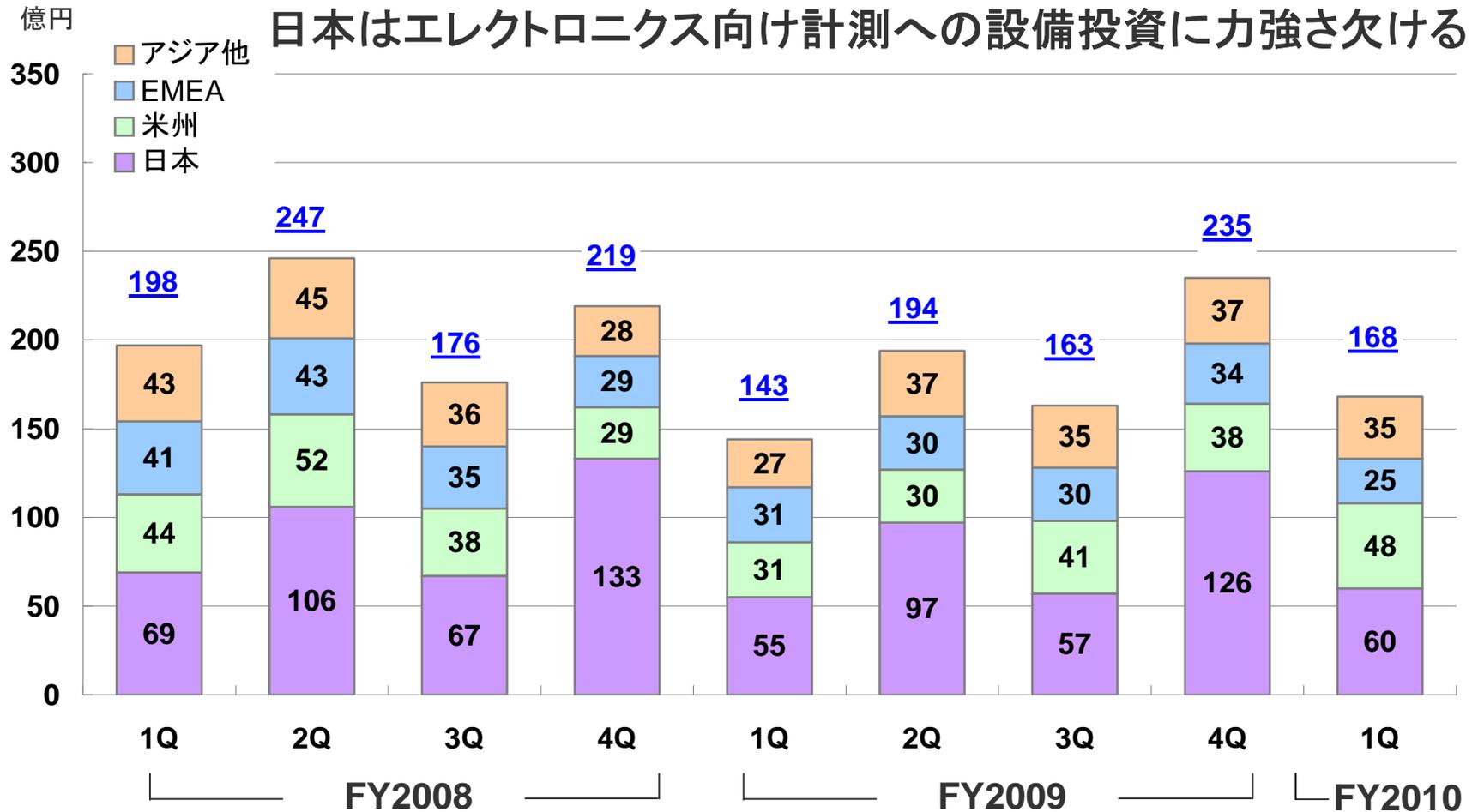


(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

地域別売上高推移(連結)



米州は無線インフラの整備、建設保守用計測を中心に堅調
 日本はエレクトロニクス向け計測への設備投資に力強さ欠ける



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

営業外・特別損益概要(連結)



(単位:百万円)

		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績
営業利益		△ 867	914
	金融収支	△ 92	△ 144
	為替差損益	△ 139	△ 514
	その他	30	△ 4
営業外損益計		△ 201	△ 661
経常利益		△ 1,068	253
	投資有価証券売却益	140	-
	資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	-	△ 68
	投資有価証券評価損	△ 1	△ 0
特別損益計		139	△ 68
税引前利益		△ 929	184

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

キャッシュフロー概要(連結)



第1四半期

- ①営業CF: 45億円
- ②投資CF: △3億円
- ③財務CF: 16億円

フリーキャッシュフロー

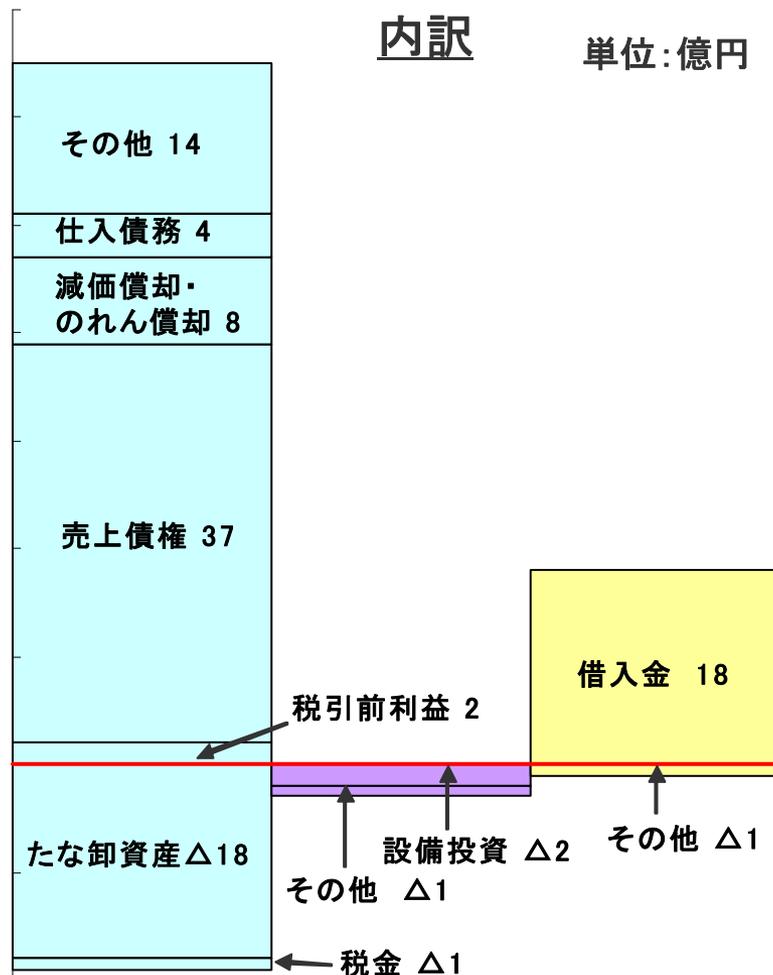
(①+②): 42億円

現金同等物期末残高

319億円

内訳

単位:億円 △減少



営業CF 45 投資CF △3 財務CF 16

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

2011年3月期第2四半期(累計)、通期の見通し(連結)



配当予定：年間 4円
(うち中間配当 2円)

上期業績は上方修正、通期見通しは変更なし

(単位：億円)

		FY2010			FY2009	
		前回予想 H1	今回予想 H1	通期予想	H1実績	通期実績
売上高		350	350	770	338	735
営業利益		△ 2	8	38	9	46
経常利益		△ 8	0	25	1	36
当期純利益		△ 13	△ 3	15	△ 1	4
計測	売上高		240	515	230	483
	営業利益		7	23	3	23
情報通信	売上高		10	55	11	53
	営業利益		△ 6	0	△ 7	1
産業機械	売上高		63	125	58	116
	営業利益		3	6	3	6
その他	売上高		37	75	38	83
	営業利益		4	9	10	16

(参考) 想定為替レート：1米ドル=90円→変更なし
1ユーロ=125円→110円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Anritsu

Discover What's Possible™